

長沼町総合振興計画審議会 福祉部会（第2回）議事概要

開催日時：平成28年1月26日（火）17:30～18:00

開催場所：長沼町役場 3階第1会議室

【出席者】

＜審議会委員＞5名

高瀬部会長、十河委員、細川委員、松村委員、安田委員

＜長沼町役場＞6名

税務住民課～尾西課長

保健福祉課～奥原補佐

町立病院～山本事務局長

総務政策課～栗野補佐、猪口主幹、和田主任

【会議録】

1 開会

高瀬部会長

お疲れのところお集まりいただきありがとうございます。今日は、特にこの部分は変えていきたいですとか、足していきたいですとか、そういった意見がありましたら出していただき、話を進めていきたいと思います。

2 議事（高瀬部会長が議長となり進行）

（1）第1回福祉部会協議内容について

高瀬部会長

事務局から説明がありますのでお願いします。

栗野補佐

【前回の第1回福祉部会における協議内容について説明】

（出席委員より前回議事概要について一部修正意見あり、部会にて了承）

（2）第5期長沼町総合振興計画・後期基本計画（案）に対する意見について

高瀬部会長

これから団塊の世代が高齢化して高齢者が増えてくると思います。交通安全、消防、防災等、高齢者福祉に関連する部分があると思いますが、大変な社会になりそうだなという不安があります。そういう意味ではこれから行政にはそういう部分への対策にしっかり取り組んでほしいと思います。特に町立病院については、高齢者は増えるが、人口自体は少なくなってくるので、何かを建てたりしても赤字になってしまう大変さ

もあると思います。

話は変わりますが、昔は町立病院に産婦人科がありましたが、人が少ないから難しいのかと思いますが、そういったことは話題に出ているのでしょうか。

山本事務局長

産婦人科も昔はありました。ただ、昔に比べれば出生数も減っており、現在の町の出生数すべてが来てくれたとしても、ドクターの人件費を賄えるだけの収入にはなりません。ドクターもなかなかいらっしゃらないというのが現状です。話が出ないということではありませんが、なかなか難しいと思います。

松村委員

どんどん高齢化が進む中で交通事故の安全対策等いろいろ考えていかななくてはいけないと思います。高齢者にとっても住み慣れた地域でいつまでも住みたいというのが最終目標なので、それらに対する交通網の整備というのが欠かせないと思っています。デマンドバス等現在行われている事業もあるわけですが、まだまだきめ細かな範囲や路線の選定というのが必要なのではと思っています。高齢者の交通安全対策という形の中でそういう事業をさらにきめ細かく対策してほしいなという意見を自分としては考えています。第2章の3節にデマンドバス運行を継続と書いてありますが、さらに充実してほしいと考えています。

栗野補佐

昨年10月に長沼町まち・ひと・しごと総合戦略を策定したところです。その中でも公共交通の活性化対策ということで、引き続き町民のニーズの把握に努め、公共交通のあり方について検討を進めると記載させていただき、これは重要な課題ということで、後期基本計画の中でもデマンドバスの運行については「町営バス利用者のニーズに合わせた運行サービスの向上に努めます」と盛り込んでいるところです。総合戦略と後期基本計画は連携をとって作成していますのでご理解いただきたいと思っています。

安田委員

長沼町まち・ひと・しごと総合戦略の策定の際に、転出者・転入者へアンケートをとっているかと思いますが、長沼町が住みにくい理由として交通の便が悪いというのと買物が不便というのが大きなウェイトを占めていたかと思います。やはり高齢者であればバスの関係のこと等を言われているのかと思います。町は町なりに取り組まれているとは思いますが、もう少しきめ細かくやってほしいというようなことではないのかと思いますが、どのようにとらえていますか。

栗野補佐

確かにアンケートの中では交通の便が悪いというのが指摘されています。スクールバスに一般の方が乗れる形ですとか、少ない経費で最大限効果を出せるような公共交通のあり方というのを協議しています。このことについては、対策に取り組んでいかななくてはならないと認識しています。

松村委員

前に述べたことと重複するところがありますが、高齢者の事故防止のため、自家用車を主とした日常生活を変えるためにも、それに代わる交通手段としての公共交通の充実は是非とも必要です。デマンドバスの範囲をもう少し広げてくれば高齢者の車の乗れない人がものすごく救われると思います。車を運転できない高齢者を自家用車に乗せてあげたくても、事故等の心配もあるのでなかなか乗せてあげられません。きめ細かく対策してくれるような施策をとってほしいなと思います。なかなか難しいかもしれないが、みんなが住みやすいまちと感じなかったら良いまちではないと思います。

栗野補佐

なかなか難しいのが、民間会社を圧迫する恐れがあるという面も考慮しなければならぬというのがあります。費用負担の面で言えば、費用を多く負担してもらわなければ公共交通を維持できないということになっております。費用負担をどこまで求めるかについても検討の中には入っているかと思えます。

松村委員

デマンドバスの運賃が高齢者は100円で安すぎると思います。少し高くなってもいいので便宜が図れないのかなと思います。

十河委員

第4章第5節に、子育て支援の充実ということで、ファミリーサポートセンターを設置し、とありますが、このセンターは今現在はないのでしょうか。これからつくるということですか。

奥原補佐

建物を建てるということではなく、協力していただける方のご自宅で子どもを少しの間看てもらおうというのが先進的に取り組んでいる自治体のオーソドックスな仕組みです。

十河委員

立ち上げはいつごろからになりますか。

奥原補佐

総合戦略にもうたっていることを踏まえ、これから検討し進めていくところです。

十河委員

第4章第9節に認知症初期集中支援チームを設置し、とあるがどういう構想ですか。

奥原補佐

前回の福祉部会でも説明しましたが、専門的な方の指導をより充実した形で、認知症が心配な方にきめ細かく行き届くような形で進めていければと思っています。

高瀬部会長

第4章第5節に児童館というのも関係しているかと思いますが、今後、小学校が統廃合されて中央小学校に一本化になった場合、学童保育も一本になるとかそのような話は出ているのですか。

奥原補佐

児童館の具体像ですとか、形、場所も含めてまだ具体的には決まっていません。

高瀬部会長

他に意見はありますか。

(出席委員から特に無し)

高瀬部会長

それでは事務局よりお願いします。

栗野補佐

松村委員さんからご意見のありました部分と、前回の安田委員さんのご意見と併せて福祉部会の意見ということでまとめさせていただいて、次回の審議会の方に福祉部会としての意見としてあげさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(出席委員から異議無し)